

広島県内では初 骨髄ドナーの学生に公欠制度を導入 学生団体「しずく」の活動を受けて

広島国際大学（学長：焼廣益秀）は、ドナー登録した学生が骨髄や末梢血幹細胞を提供する際、欠席を認める公欠制度を導入しました。公益財団法人日本骨髄バンクによると、日本国内で本制度を学生に適用しているのは4例目、広島県内では本学が初となります。

最近では、競泳の池江璃花子選手の白血病公表をきっかけに、骨髄ドナーが注目を集めています。提供に当たっては複数日の入院により仕事を休む必要が生じるため、自治体や企業が費用面、制度面でさまざまな支援制度を設立しています。本学では、学生による骨髄ドナーバンク登録推進団体「しずく」(*)の活動実績もあり、日本骨髄バンクからの提案を受けて導入を決めました。



説明員として活動する「しずく」メンバー

つきましては、概要をお知らせしますので、取材で取り上げていただきたくよろしくお祈りします。

※骨髄ドナーバンク登録推進団体「しずく」

2011年に、当時骨髄ドナー登録を啓発するわが国唯一の学生団体として設立し、学内外での啓発活動や登録会の開催、説明員のボランティアなど、骨髄ドナー登録の推進に尽力。2013年には活動内容が評価され、広島県から感謝状を受けています。

【概要】

1. 対象者：広島国際大学の大学院生、学部学生
2. 制度利用方法：【事前】当該院生・学生は骨髄等提供確定後、速やかに大学へ連絡
【事後】骨髄等提供をしたことが分かる証明書等を大学に提出
3. その他：東広島市に住民票がある学生は、同市に申請すれば入院日数に応じ最大14万円の助成金の交付を受けることができます。

■内容に関するお問い合わせ先

広島国際大学 診療放射線学科 教授 富永孝宏
TEL：0823-70-4586 / 東広島市黒瀬学園台 555-36

■取材の申し込みに関するお問い合わせ先

学校法人常翔学園 広報室（坂井） TEL：0823-27-3102 携帯：090-3038-9927